

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	斎場運営管理事務				継続			
コード	23	-	23	-	03	-	00	予算事業名 斎場等運営管理
担当部署	市民部	市民課		庶務担当		予算事業コード	会計 10 款 04 項 01 目 13	

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け		位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	6章	人と人とのつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち	根拠となる法令、条例等	墓地、埋葬等に関する法律、川越市斎場条例、川越市霊柩自動車使用条例、川越市祭壇の使用等に関する条例
方向性(節)	2節	安全で安心な暮らしの確保		
施策	6	葬祭事業の充実	個別計画等の名称	なし
細施策	2	現斎場の運営・管理の充実		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	死亡者の火葬を、すべての市民及び市外居住者を対象とし、公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障なく行うため。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	火葬業務(火葬炉運転、炉前業務、収骨業務)、霊柩自動車の運行業務及び祭壇の貸出し業務を民間委託とし、施設の管理を市民課で行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		88,519	87,272	87,273	89,937	89,469	
事業費	A	86,716	83,416	83,162	88,668	89,000	89,000
	B	11,100	11,100	11,100	11,100	18,500	18,500
総コスト(C=A+B)		97,816	94,516	94,262	99,768	107,500	107,500
正規職員(1年間の従事人数)		1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	2.50人	2.50人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	6,636	6,657	4,194	5,924	6,897	6,897
市の財政負担(=C-D-E)		91,180	87,859	90,068	93,844	100,603	100,603

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	市民死亡者の火葬場利用率	%	94.0	91.9	92.6	91.7	市民の火葬件数の、市民の死亡者数に対する比率(年間)
成果	火葬炉稼働率	%	83.3	83.1	86.7	90.4	斎場火葬炉の稼働率(年間)
成果	火葬件数	件	2,492	2,481	2,659	2,781	斎場の火葬件数(年間、市外住民を含む)
活動	火葬枠を増設した日数	日	7	7	54	54	死亡者が増加する冬季において、1日の火葬件数を通常の10件から、11件へ増設した日数
中心指標の考え方		本事業は、成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		人口の高齢化のため、年間の火葬件数及び斎場稼働率が増加している。これに対して、斎場では、死亡者が増加する冬季に、火葬枠を増設し対応している。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	必要性に課題
火葬炉が5基しかないため、火葬件数が増える冬季には1週間以上の「火葬待ち」が発生するなど施設能力の限界に近づいている。限られた施設の中で、いかに火葬の需要に対応していくのが課題となっている。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
火葬場を持つ県内市町村と炉数について さいたま市(20)、熊谷市(6)、行田市(4)、所沢市(8)、羽生市(3)、深谷市(6)、上尾市(6)、越谷市(14)、三郷市(4)、春日部市(8)、富士見市(6)、秩父市(4)、本庄市(5)、東松山市(6)、鴻巣市(8)、飯能市(6)、越生町(4)、加須市(8) ※()内が火葬炉数	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
火葬場の経営は、原則として地方公共団体にのみ認められているため、事業を廃止することはできない。これからは、死亡者がさらに増加することが見込まれており、事業を縮小した場合、市民にとって高い火葬料を支払って市外の火葬場を利用しなければならない。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
新斎場が完成し運用開始されるまで、現斎場を運用する必要があるが、火葬炉が稼働から10数年経過し老朽化している。新斎場の開始までの間、安定稼働するための改修が必要と考える。	